

平成29年度国際交流留学センター主催シンポジウム「教員養成大学におけるグローバル人材育成を考える」を開催―奈良教育大学―

去る平成29年12月9日、奈良教育大学国際交流留学センター主催シンポジウム「教員養成大学におけるグローバル人材育成を考える」を開催し、教員、学生、一般の方ら、85名が参加した。

今年度3年目となる同シンポジウムでは、「グローバル人材」とその育成を教員養成大学の文脈で捉え直し、多文化化する社会、学校教育において私たちに必要な態度や技能について「ことば」をキーワードとして考えた。第一部では京都外国語大学の森篤嗣氏に、阪神淡路大震災をきっかけに在日外国人への情報保証のために考案された「やさしい日本語」について、学校教育と関連付けながらお話をいただいた。また第二部では目白大学の横田和子氏が実践している「インタビュー詩」の創作ワークショップを行い、留学生を含む文化や背景の異なる人同士が対話を通しての協働を体験した。

「ことば」を軸に、多様な背景を持つ者同士が互いの声を聞き、歩み寄る態度の大切さを感じることができたシンポジウムであった。



森篤嗣氏の講演



ワークショップ「インタビュー詩を創ろう」の様子